

「普代村人口ビジョン」と「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の骨格素案

普代村人口ビジョン

中長期的展望(2060年までを基本)

I. 人口の現状分析

○人口動向分析

- ・普代村の人口は、昭和40(1965)年をピークに減少に転じており、平成26(2014)年10月1日現在の人口は、2,913人となっている。
- ・生産年齢人口は、昭和40(1965)年にピークを迎え、以降、減少に転じている。また、年少人口は、昭和35(1960)年をピークに減少に転じ、平成7(1995)年を境に、年少人口(0~14歳)を老年人口(65歳以上)が上回っている。
- ・自然増減については、平成9(1997)年以降は死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。直近3年間(平成24(2012)~平成26(2014)年)の出生数の平均は約15人、死亡数の平均は約45人で、約30人の自然減となっている。
- ・社会増減については、平成5(1993)年を除き社会減となっており、直近3年間(平成24(2012)~平成26(2014)年)の転入数の平均は約69人、転出の平均は約78人で、約9人の社会減となっている。
- ・普代村の2008~2012年合計特殊出生率は1.54で、平成22(2010)年における全国平均1.43及び岩手県平均1.46を上回るものの、平成9(1997)年以降は自然増減がマイナスに転じ、総人口も減少が続いている。

○将来人口推計の分析

- ・社人研の推計によると平成22(2010)年の総人口3,088人が、平成52(2040)年には1,762人(42.9%減少)、平成72(2060)年には1,050人(66.0%減少)まで減少する。
- ・平成72(2060)年の年齢構成は、年少人口81人(7.7%)、生産年齢人口451人(42.9%)、老年人口518人(49.3%)となる。
- ・平成22(2010)年の生産年齢人口1,759人(57.0%)が平成72(2060)年には451人となり、大幅な減少(1,308人減少)が予測され、地域経済の縮小、村税等収入の減少により村民生活に必要なサービス維持が困難となること懸念される。

II. 人口の将来展望

○将来展望に必要な調査、分析

※総合発展計画の策定に係るアンケート調査と併せ、今後、結婚・出産・子育て・移住等に関する意識・希望等の調査を行う。

○目指すべき将来の方向・施策の方向性

- ・移住・定住に関する希望を実現する
- ・若い世代の結婚・子育て等に関する希望を実現する
- ・多様な地域を形成する

○人口の将来展望

※基本的視点に基づき取り組むことで展望される普代村の将来人口の目標値を設定する。

- ・平成52(2040)年の総人口1,762人⇒496人増の2,258人を目標
- ・希望出生率の実現 現在(2008~2012年)1.54
平成42年(2030)年1.80⇒平成52年(2040)年以降2.07
- ・社会増減ゼロの実現⇒社会増減数をマイナスに転じさせない

普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015~2019年度の5ヵ年)

基本目標と基本的方向

1 地方における安定した雇用を創出する

<基本的方向案>

- ①地域産業の競争力強化
- ②魅力ある雇用の場の創出
- ③女性・高齢者・障害者の就業機会の拡大

<数値目標案>

個人村民税額 など

2 地方への新しい人の流れをつくる

<基本的方向案>

- ④普代への移住と定住の促進
- ⑤普代の個性と魅力の情報発信力強化
- ⑥豊かな自然と伝統文化の継承
- ⑦誘客拡大のための観光力強化

<数値目標案>

転入者数・転出者数 など

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<基本的方向案>

- ⑧出会いの場の創出
- ⑨妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ⑩ワークライフバランスの推進
- ⑪教育環境の充実

<数値目標案>

合計特殊出生率 など

4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

<基本的方向案>

- ⑫健康寿命の延伸
- ⑬健康で恵み豊かな環境の維持
- ⑭住民が地域防災の担い手となる環境の確保
- ⑮地域を誇りに思い、地域を支えたいと思う人材の育成

<数値目標案>

人口ビジョンにおける中期目標値 など

主な事業と重要業績評価指標(KPI)

- ・ふだいの産業魅力アップ事業(地域資源を活用した商品開発及び販路拡大事業【KPI:商品化件数3件、新規取引件数5件】)
- ・普代村新卒者等雇用促進奨励金事業(新卒者及びUIJターン者を雇用した事業主に対する奨励金制度【KPI:新卒者雇用者数2名、UIJターン者雇用者数1名】)
- ・普代村新規漁業者支援協議会補助金事業(新規漁業者確保・支援を行う協議会に対する補助金事業【KPI:新規漁業者相談件数5件】)

- ・地域資源発掘周遊観光バス運行事業(村内魅力発掘・発信のためのバス運行事業【KPI:利用者数1,020人】)
- ・「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業(村外ファン会員登録制度【KPI:登録者数100人】)
- ・学官連携で推進する「おためしU愛」ターン支援事業(大学連携施設及び移住定住施設整備及び、大学連携の移住体験事業の実施【KPI:移住体験者数10人】)

- ・はまゆり子ども園給食費支援事業(はまゆり子ども園入所者世帯に対する給食費負担相当分の商品券による助成事業【KPI:新規子育て世帯転入数1世帯】)

- ・事業名(事業内容【KPI】)